

そうだ、きさいち植物園に行こう！

Let's go Kisaichi botanical garden



1月 2月



アセビ

- ツツジ科の常緑低木
- つぼの形の白い花を多数咲かせる
- 馬が葉を食べると酔うといわれ、「馬酔木」ともいわれる
- 葉は殺虫剤にも利用される

2月



イヌガシ

- 本州中部より西の山地に生えるクスノキ科の常緑小高木
- 赤色の小さい花が群がって付く
- 語源はカシに似ているが本物ではないという意味

1月 2月



ボケ

- 中国原産で平安時代に渡来。バラ科の落葉低木
- 2月頃から赤や白の花を咲かせる
- 現在は庭園に植栽されるが、九州などでは野生化している

2月



モクレイシ

- 海岸近くの林に生えるニシキギ科の常緑小高木
- 芳香のある小さな緑白色の花を咲かせる
- 語源は赤い種をツルレイシの果実に見立て、それが木のような質感であることから

※気象状況により開花時期は前後します。現在の開花状況は植物園までお問い合わせください。

こぼれ話

ツバキとサザンカ。どちらも同じツバキ属に属する植物です。この2つの植物は、見た目が非常に似ており区別が難しいのですが、次のような違いがあります。



サザンカ



ヤブツバキ

- ▷花の咲く時期 寒くなってくると咲くのがサザンカ、暖くなると咲くのがツバキ
- ▷花の形 ツバキは雄しべが筒状で立体的、サザンカは平面で花びらが平開する
- ▷花の散り方 サザンカは花びらがパラパラと散るが、ツバキは花ごとポトッと落ちる

他にも見分け方はいろいろありますので、植物園で実際に見比べてみてください。まずはこれから咲くツバキ。植物園には、330品種600本のツバキが植えられています。12月～3月ごろまで見れますので暖かい服装でお越しください。

大阪市立大学理学部附属植物園 (愛称：きさいち植物園)

- ☎ 891-2059 ● 交野市私市 2000 (私市駅徒歩6分) ● HP <https://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>
- 開園時間 9:30～16:30 (入園は16:00まで) ● 休園日 月曜日 (祝休日の場合は開園)
- 入園料 大人 350円 / 中学生以下無料 ● 駐車料 普通車 500円 / マイクロ 1,000円
- ※ 65歳以上の交野市民は「植物園メイト」に登録すると入園料が無料になります。



星ノ町 レジェンド

市橋長勝は、弘治3年(1557年)に美濃(現在の岐阜県)で生まれ、織田信長に仕えました。天正10年(1582年)の信長の死後は、次の天下人となる豊臣秀吉に仕え、天正12年頃に星田の領地を得て、文禄・慶長の役などの戦に秀吉の下で参加しました。

秀吉の死後、慶長5年(1600年)に起きた関ヶ原の戦いでは、徳川家康の東軍につき、そこで活躍により1万石を与えられました。長勝は、後に三英傑と呼ばれる信長、秀吉、家康の全員に仕えた武将となったのです。

慶長20年の大坂夏の陣では、豊臣方が家康に陣を構えさせないため、交野を含む近隣の村や寺を焼き打つ中、長勝はこれをいち早く予想し、星田村の守りを固めて焼き打ちを防ぎました。その後、家康は星田村の平井家でゆっくり休んで英気を養い、大阪城へ攻め入り豊臣方との闘いに勝利しました。この活躍により長勝は5万石を与えられ、家康からの信任を厚くしました。

また、長勝は元和6年(1620年)、64歳で病死しましたが、子供がいなかったため一時は家の取りつぶしになりかけました。しかし、長勝と家康との信頼関係によるものか、嘆願が認めら

滋賀県日野町清源寺蔵・日野町教育委員会提供



星田を焼き打ちから守った領主

いちしながかつ
市橋長勝

1557年—1620年

れて長勝の甥の長政が家を継ぎ、市橋家は幕末まで続きました。

市橋家8代目の当主長昭は、家康を助けた長勝の功績を広く知らせ称えるために、このエピソードを綴った石碑「神祖宮址之碑」を文化2年(1805年)に建てました。この石碑は現在も市指定文化財として残っています。

もし、長勝がいなかったら、星田村の歴史は大坂夏の陣のときに途絶えてしまったかもしれません。彼の活躍なくして今日の交野は存在しなかった人物の一人だと言えます。



市指定文化財 神祖宮址之碑
(星田2丁目)



市橋長勝所用 伊予札腰取二枚胸具足
(大阪城天守閣蔵)

広報12月号の同コーナーで、肖像画の所蔵先の記載もれがありました。掲載している松永久秀肖像画は「高槻市しろあと歴史館蔵」です。記載もれをおわびいたします。